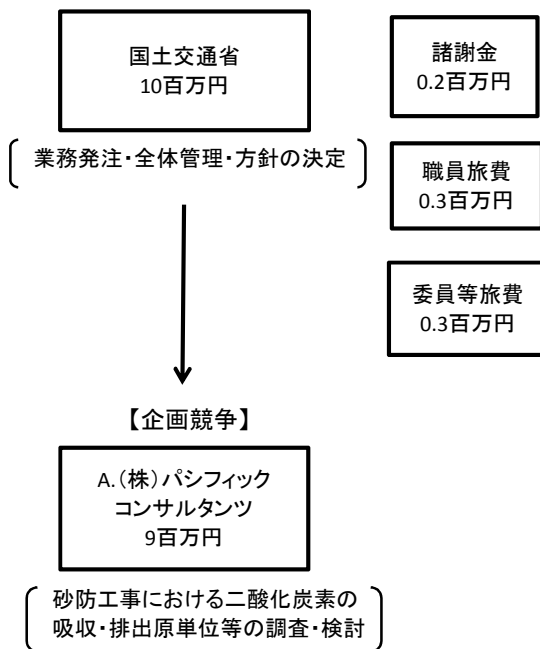


行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	低炭素型工事等検討経費	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局庁	河川局砂防部	担当課室	保全課	課長 森山 裕二		
会計区分	一般会計	上位政策	良好な水環境・水辺空間の形成・水と緑のネットワークの形成、適正な汚水処理の確保、下水道資源の循環を推進する			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計 画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	二酸化炭素排出増加による地球温暖化が指摘される中、土砂災害防止工事においても可能な限り二酸化炭素の排出を抑制することが求められていることから、二酸化炭素排出量削減への取り組みの推進を目的としている。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	土砂災害防止工事において、使用する材料の製造過程や工事などで排出する二酸化炭素を定量的に算出する。算出結果を用いて、砂防堰堤などの構造や工法の違いによる二酸化炭素の排出量を比較・評価する方法を確立する。					
実施状況	平成21年度は砂防堰堤の整備にかかる二酸化炭素排出量を定量的に算出する「低炭素型砂防事業等検討業務」を実施。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	10	8	0
	執行額	-	-	10		
	執行率	-	-	98.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・ 使途の把 握水準・ 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせ協議により全体計画、業務の進捗状況等の把握を行い、適正に業務が遂行されているか確認を行っている。 ・業務の主たる部分に係る再委託は禁止されており、主たる部分以外の再委託については、軽微なもの(コピー、印刷、製本、資料の収集・単純な集計、速記録の作成、翻訳等)を除き再委託承諾申請書を提出させることになっており、打ち合わせ協議により、再委託の有無や内容について確認を行っている。 				
	見直しの 余地	これまでの実施状況を踏まえて、調査事項のさらなる精査などを行い、限られた予算の中でより効率的な検討とする。				
予算 監 ム 視 の ・ 所 効 見 率 化	<p>【事業廃止】</p> <p>砂防堰堤などの構造や工法の違いによる二酸化炭素排出量の削減効果を定量的に把握する手法の検討が進み、本事業の内容は概ね終了し、一定の成果が見込まれることから、廃止する。今後は、砂防工事に用いるエコ建材の強度・耐久性の確保方策など、砂防工事でのCO2削減に向け、より実効性のある事業手法の検討を行う。</p> <p>ただし、各種のマニュアル、指針、資料、手引き案、評価方法などが成果とのことであるが、このような資料がどの程度利用されて、政策目標を達成したかが真の成果ではないか。行政評価では、作成物はアウトプット、作成物の効果をアウトカムと呼称するが、政策評価は操作不可能なアウトカム指標で測定するべきと考える。</p>					
補 記	<p>【予算科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・071 水環境対策費 <ul style="list-style-type: none"> ・05-95 良好な水環境の形成等の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・95016-2129-06 諸謝金 1百万円 0百万円 ・95016-2122-08 職員旅費 0百万円 0百万円 ・95016-2122-08 委員等旅費 0百万円 0百万円 ・95016-2123-09 水環境対策調査費 9百万円 9百万円 					

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出さ
 れている者について記
 載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるよ
 うに記載)

A. パシフィックコンサルタンツ(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	低炭素型砂防事業検討業務	9			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0